

「横浜みどりアップ計画」地域緑のまちづくり

緑園都市地区 地域緑化計画書

計画名： 緑園都市 四季の径周辺 緑化改善計画

推進団体名： 緑園都市 緑化推進クラブ



この地域緑化計画書は、公開します。

地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>令和3年度 ～ 令和5年度</p>
<p>計画の目標</p>	<p>《提案計画の目標》 地域のシンボルとして誇れる遊歩道(四季の径)を中心とした周辺地域の緑化推進と緑化活動を通じて地域コミュニティの活性化をめざします。</p> <p><具体的な目標></p> <p>① 四季の径周辺の緑化の推進・美化の推進 地域に親しまれている“四季の径”の“春夏秋冬及び並木ゾーン”コンセプトを身近に感じられるよう緑化・美化を推進します。並行して近隣地域の緑化を推進することで、多くの人に自然環境の大切さを知ってもらう活動とします。</p> <p>② 緑化を通じた地域活動の活性化の機会を提供 幅広い年代が緑化活動に親しめるような植栽イベント、講習会などの場を提供します。また、広報誌や地域組織を通じて住民への参加を促し、交流の機会を増やし会員を募ります。</p>
<p>課題及び背景</p>	<p>① 緑園は緑の豊かな地域で、“四季の径”は地域シンボルとして親しまれており、平成元年に“横浜市まちなみ景観賞”を受賞しました。しかし、時間の経過とともに、劣化が進み、既存の維持活動だけでは限界があります。</p> <p>② RCA（緑園都市コミュニティ協会）が泉土木と共同で四季の径の草刈り、住民参加の一斉清掃などに取り組んでいますが、地域をあげての緑化活動には至っていません。</p> <p>③ 地域の植栽ボランティア、近隣の公園愛護会などの既存団体も高齢化で後継者不足の為、現状維持も難しくなっています。緑化を通じた住民のつながりを維持し、広い世代に関心を持ってもらえる取り組みが必要になっています。</p>
<p>課題解決及び効果</p>	<p>① 地域のシンボルの緑化活動であり、多くの花と緑で彩りを加えることで緑園全体への広報効果とイメージアップが期待できます。</p> <p>② 既存組織の枠を超えて様々な住民を結びつけ地域の活性化が図れます。協賛いただく RCA は、これまでも近隣の小・中学校、大学、相鉄ホールディングスグループとも協業し、地域課題を緑化の切り口で対応してきました。その知見を生かして本活動を通じて活動の活性化を目指します。</p> <p>③ 対象地域は2022年4月に開校予定の緑園義務教育学校の通学路予定地でもあり、小・中学生も含む幅広い住民に活動を理解いただけます。</p> <p>④ 小中学生が花や木の手入れに参加することで、緑に親しみ、自然環境の大切さを体験することができます。子供達が緑園を自分の故郷として愛着を持つことができます。</p>

<p>組織づくり</p>	<p>① 10年以上植栽課題に対応してきたサンステージ西の街の環境植栽委員会と、地域緑化に長年携わってきたRCAのメンバーを推進母体とし、広く参加者を募る。</p> <p>② 四季の径が通る近隣自治会（緑園3丁目、4丁目西、6丁目）およびマンション管理組合に活動計画を説明し、活動の協力体制を作っていく。</p> <p>③ 既存の緑化ボランティア、公園愛護会、ハマロードサポーター、相鉄ホールディングスグループとの連携を図っていく。</p>
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p>	<p><民有地緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> 四季の径に隣接する戸建てに協力を募り、自己負担10%で分譲時の2段植栽柵の活用やフェンスへのハンギング・プランター設置などで皆が楽しめる緑を増やす。 四季の径に隣接するマンションおよび四季の径から義務教育学校に向かう歩道では四季の径と一体感のある緑化を実施する。 （公有地緑化）四季の径内は泉土木事務所との合意に基づき、プランターを前提としてゾーニングを表すシンボル植栽やゾーン毎の花壇などにより緑化を進める。 <p><地域緑化活動></p> <ul style="list-style-type: none"> RCA、学校、相鉄ホールディングスグループ等と連携し、広く参加者を募り住民参加型の活動に広げてゆく。 既存の緑化活動をしているグループと連携し継続的な活動につなげる。専門家の解説付き植栽ツアー等のイベントを開催し、季節の花に親しむとともに、本活動に理解を深めてもらう。定期的にニュースを発行(各自治会等で掲示)するとともに、地域全戸に配布しているRCA広報誌と連携して広報活動を展開する。
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の活動（RCA、自治会、ハマロードサポーター、公園愛護会等）との連携を保ち、緑化・植栽維持のための定例会を企画することで活動の継続性を確保する。 RCAの既存の活動（花の頒布会、年末一斉清掃）を活用し、対象範囲を広げた活動につなげる。引き続き、広報活動も独自の広報紙に加え、緑園ネット（地域のホームページ）や会報誌などを活用して地域に活動状況を理解いただく。 近隣住戸、マンションと連携した植栽ツアー等を皆で企画して幅広く関心を集め、多くの人の参加を求めてゆく。 緑園義務教育学校と連携し、小・中学生による樹木プレート作成、花の植え付け等、記憶に残る活動を行う。
<p>資金計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間中の自己資金 各自治会（緑園3丁目、4丁目西、6丁目）、マンション管理組合（環境植栽部会）、戸建てより緑化費用の10%を自己負担として拠出いただく。 RCAおよび相鉄ホールディングスグループからも協力をいただく。 計画期間終了後の活動資金 上記活動を継続して予算を確保する予定。

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (令和3年度)</p>	<p>民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季の径に面した戸建て住戸の2段植栽樹、フェンス等の緑化 1/2 3丁目・6丁目の戸建て住戸の2段植栽樹、フェンス等の緑化 1/3 サンステージ西の街周辺緑化（階段壁面緑化、セントラルスポーツ横、管理棟横） 四季の径(公有地)：冬(東側)ゾーン緑化、ゾーン表示設置 維持管理：並木ゾーン、冬ゾーン用の給水設備設置 <p>地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化・維持管理活動（適時）：勉強会、植栽ガイドツアーなど 周辺住戸の緑化募集（一次募集） アンケート実施、定例会開催、地域への説明会開催、広報紙発行（年2回） 維持管理用具入れ設置
<p>2年度目 (令和4年度)</p>	<p>民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季の径に面した戸建て住戸の2段植栽樹、フェンス緑化等の緑化 2/2 3丁目・6丁目の戸建て住戸の2段植栽樹、フェンス緑化等の緑化 2/3 相鉄ライフ法面緑化、グレースシア法面緑化 四季の径(公有地)：冬(西側)ゾーン及び秋ゾーン緑化、ゾーン表示設置 維持管理：秋～夏ゾーンの給水設備設置 <p>地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化・維持管理活動（適時）：勉強会、植栽ガイドツアーなど 周辺住戸の緑化募集（二次募集） アンケート実施、定例会開催、地域への説明会開催、広報紙発行（年2回）
<p>3年度目 (令和5年度)</p>	<p>民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 3丁目・6丁目の戸建て住戸の2段植栽樹、フェンス緑化等の緑化 3/3 義務教育学校近隣の通学路沿いのプランター緑化 四季の径(公有地)：並木ゾーン、夏ゾーン及び春ゾーン緑化、ゾーン表示設置 維持管理：夏～春ゾーン用の給水設備設置 <p>地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化・維持管理活動（適時）：勉強会、植栽ガイドツアーなど 周辺住戸の緑化募集（三次募集） アンケート実施、定例会開催、地域への説明会開催、広報紙発行（年2回）
<p>創意工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域のシンボルである四季の径を中心に緑化推進することで、コンセプトを含めた認知度を上げることで、地域全体に活動への理解を深めてもらう計画です。 緑園義務教育学校の開校準備と合わせた緑化で小・中学生、父兄を始め住民の広い年代層に緑化への関心を深めてもらうきっかけとします。 既存団体と連携を深めて双方の活動の活性化を目指します。

民有地緑化 (1)

A. 四季の径扱い戸建て

2段階植栽柵
やフェンスへの
ハンギングバスケット



B. サン・ステージ西の街

壁面緑化



C. サン・ステージ西の街

裸地の緑化
管理棟横と
スポーツ棟横



D. 相鉄ライフ・緑園都市駅

相鉄Gと協業で
法面緑化、裸地
の緑化を進める
【花と緑の会
協業】

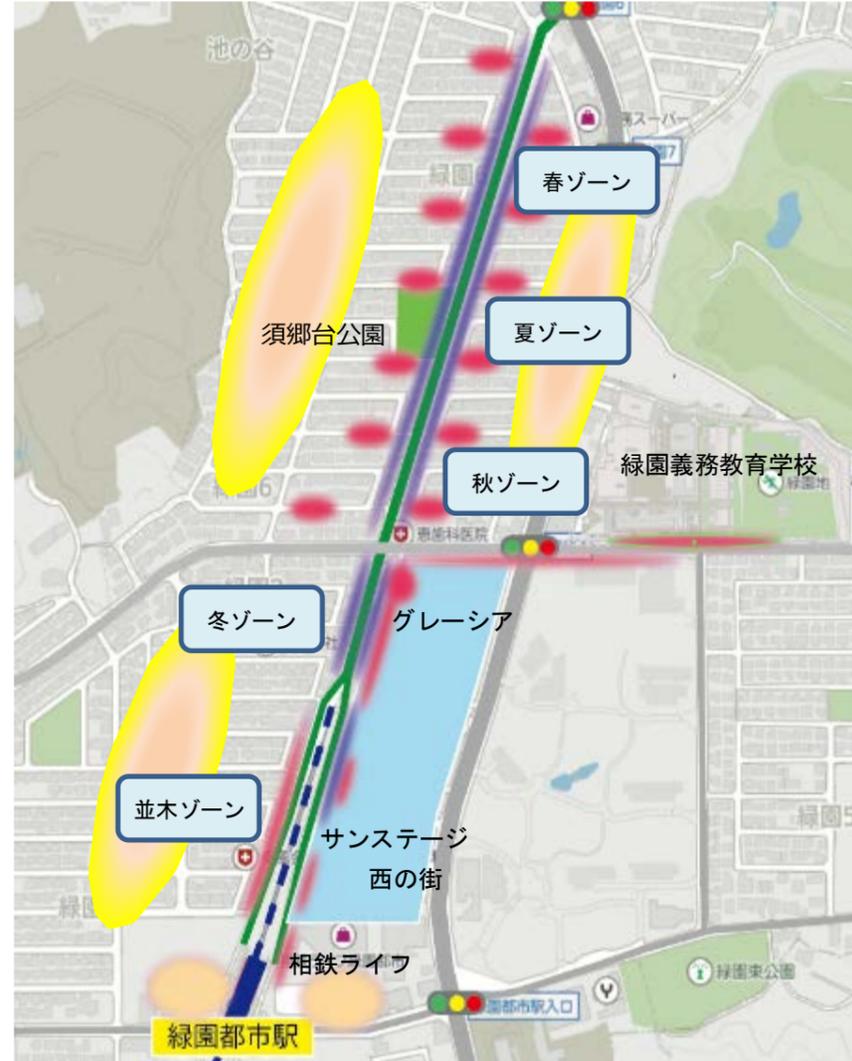


E. 義務教育学校の通学路沿い植栽

プランター植栽、
フェンスへの
ハンギングバスケット
等



緑園都市緑化推進クラブ 活動概要図



民有地緑化 (2)

“A: 四季の径扱い戸建て”
と同様に道路に面する場所
の植栽への補助を行うエリア



公有地緑化

a. 四季の径の沿いのベンチ

ベンチ周辺を
プランターで緑化



b. 四季の径の季節ゾーン

シンボルプランター
【季節の感じられる
植栽でゾーン表示】



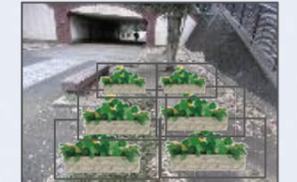
c. 冬ゾーンの裸地 (4丁目側1)

サンステージ脇
の裸地のプランター
設置



d. 冬ゾーンの裸地 (4丁目側2)

4丁目階段脇の裸地に
プランター設置



e. 冬ゾーンの裸地 (3丁目側)

3丁目裸地にプランター設置



f. 並木ゾーン

相模鉄道のフェンス
沿いの裸地を
プランターで改善



概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和3年度）	2年度目（令和4年度）	3年度目（令和5年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	330	0	0	330	100%以内	
		(主な内容) 全体の整合性のコンセプトの詳細設計、緑化の具体化等の設計費用		(主な内容)	(主な内容)		
	②緑化整備等経費 (注2)	4,100	4,650	4,300	13,050	90%以内	
		(主な内容) (1)四季の径近隣住戸の緑化1/2(民) (2)3丁目・6丁目住戸の緑化1/3(民) (3)サン・ステージ西の街周辺緑化(民) (4)四季の径：冬(東側)ゾーン緑化(公)		(主な内容) (1)四季の径近隣住戸の緑化2/2(民) (2)3丁目・6丁目住戸の緑化2/3(民) (3)相鉄ライブ法面緑化(民：相鉄) (4)四季の径：冬(西側)～秋ゾーン緑化(公) (5)グレースシア法面緑化(民)	(主な内容) (1)義務教育学校周辺緑化 (2)3丁目・6丁目住戸の緑化3/3(民) (3)四季の径：夏～春ゾーン緑化(公) (4)四季の径：並木ゾーン緑化(公)		
合計額 (注9)	概算事業費 4,430	概算事業費 4,650	概算事業費 4,300	13,380			
	(助成見込額) (3980)	(助成見込額) (4150)	(助成見込額) (3870)	12,000			
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観木1本につき、合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/本)
	合計額 (注9)	概算事業費 0	概算事業費 0	概算事業費 0	0		
(助成見込額) (0)		(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	0			
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	720	500	500	1,720	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	140	360	360	860		100%以内
	③事務費	100	100	100	300		100%以内 (上限100千円/年度)
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 (上限40千円/年度)
	合計額 (注9)	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	3,000		
(助成見込額) (1000)		(助成見込額) (1000)	(助成見込額) (1000)	3,000			
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費 5,430	概算事業費 5,650	概算事業費 5,300	総合計 16,380	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内		
	(助成見込額) 4,980	(助成見込額) 5,150	(助成見込額) 4,870				15,000

- (記入時の注意事項)
- 注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。
 - 注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）
 - 注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
 - 注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
 - 注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
 - 注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）
 - 注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（）を付けてください。